

2026年度 一般選抜 前期A・B日程 出題の意図

科目	出題の意図
英語	<p>〔Ⅰ〕長文読解 ・重要な語句について文章の中での意味を正しく理解できているかチェックする。 ・長文について段落ごとの内容を正しく理解できているかチェックする。</p> <p>〔Ⅱ〕適語句選択 高校卒業までに学ぶ重要な文法・語法、語彙・イディオムを正しく理解できているかチェックする。</p> <p>〔Ⅲ〕語句整序（英作文） 提示された日本語の文の意味に合うように、英語で作文する力をチェックする。</p> <p>〔Ⅳ〕適文選択（対話文） 日常的な内容の英会話の流れを把握し、空所に適切な発話が補充できるかチェックする。</p> <p>〔Ⅴ〕ビジネスメールや広告文など図表を含む資料等の読解 提示された資料の内容について、図表のデータ・情報などと照合しながらその要件やポイントが理解できているかチェックする。</p>
数学	<p>出題のねらいは、基本事項を理解しているか、数学的思考力が備わっているか、計算力が身に付いているかをみることにある。多くの場合、3つの大問が出題されて、〔Ⅰ〕は小問集合で、教科書の練習問題から章末問題程度の問題で構成され、基本事項の理解と基礎的な計算力を問うている。〔Ⅱ〕、〔Ⅲ〕は基本事項の理解を背景に数学的思考力を問う総合的な問題である。前半は各分野の基本事項に関する設問、後半は思考力や計算力を問う設問で構成されている。解答の流れを掴みやすいように誘導形式であることが多く、教科書の章末問題に近い難易度となっている。</p>
国語	<p>高等学校までに培った総合力を判定することを目的として出題している。長文読解の二題はいずれも現代の論理的文章を読み、その内容を正確に理解できているか問う問題となっている。傍線部の前後だけ読んだり、全体を曖昧に理解しているだけでは正答を導けない。また、漢字問題では正確に漢字を理解しているか、語彙問題では正しく語句の意味・用法を理解しているかを問うた。</p>
物理	<p>物理学は公式に当てはめることで正解を導く知識の学問ではなく、概念の学問である。とらえどころのない抽象的な「エネルギー」や「熱」などの概念をどの程度理解しているのか、難易度に変化をつけた問題構成としている。物体の運動、電気、熱または波に関するテーマから、これらの現象を記述する基本的な問題を出題した。公式の暗記だけでは高得点がとれない設定となっており、公式がどのような条件と過程を経て導かれたのか学習の理解度が問われる。</p>
化学	<p>化学基礎と化学の各単元から幅広く出題し、基本的な事項の理解、思考力および計算力が身につけているかを評価している。〔Ⅰ〕の小問は、教科書の例題や章末問題レベルの難易度で、基本的な化学の知識と計算力を問う設問で構成されている。〔Ⅱ〕～〔Ⅳ〕は教科書の各単元の内容に沿った冒頭のリード文を読み進めながら、複数の設問を通して化学で重要な用語・知識や基本的な化学反応が理解できているかどうか、また化学的知識の応用力や計算力を評価している。</p>
生物	<p>本問題は、高等学校で学習する「生物基礎・生物」に関する基本的な知識を広く身につけているのか、更に生物に関わる現象や仕組みについて正しく理解しているかを問うものである。また、いくつかの問題は、生物に関わる知識や問題文中に示した情報を用いて正解を導くような、応用力・思考力を測る問題を含む。</p>
日本史 ※A日程のみ	<p>出題出される時代は古代から近現代までである。いずれも時代も高等学校の日本史教育をきちんと学修しているかを確認する。分野は政治・経済・社会を中心とし、そのほか宗教や文化についても問う。それぞれの時代における特徴や、政治や経済が他の事柄とどのように関連していたのかについて、きちんと理解できているかを確認する。また、単に用語や人名、年号などを覚えているかだけでなく、歴史にかかわる事柄を適切に理解できているかも問う。本試験では時代、地域、分野を横断した幅広い知識と教養を確認している。</p>
世界史 ※A日程のみ	<p>高等学校における標準的な学習を通じて世界史全般の知識が習得できているかを問う試験問題としている。教科書・用語集・資料集に準拠し、世界の歴史的事項について、地図問題や史実確認問題および時代の前後関係を問う問題を織り交ぜて出題している。また、大学での授業を理解するにふさわしい文章読解力と論理的思考力が身につけているかを試すため、リード文の内容を正確に理解したうえで解答する形での出題を心がけた。</p>
政治・経済 ※A日程のみ	<p>基本的には教科書や資料集、用語集に記載されている範囲からの出題であり、「政治・経済」に関する基礎的な知識の修得度を問うている。もっとも、現代社会は国内外ともに日々絶え間なく変化しており、それに伴って新たな社会的課題も生じている。そうした教科書に記載されていないような新たな事象についてもきちんとフォローできているか、そして「政治・経済」の基礎的な知識を用いて考察することができるかどうかという点についてもみることとしている。</p>